**千葉支部2013年度第1回研修会**

**○日時：5月26日（日）9：30～12：30（受付9：00）**

**○場所：千葉大学西千葉キャンパス（教育学部大会議室）**

**○テーマ：〈インクルーシブ教育システムと今後の早期相談支援・就学相談のあり方〉**

**○講師： 丹羽登文部科学省特別支援教育調査官**

**吉村郷南房総市教育委員会指導主事**

○企画趣旨

平成24年7月、文部科学省は中央教育審議会初等中等教育分科会報告として、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」を発表した。これは、周知のとおり、障害者の権利に関する条約が国連で採択され、日本においても同条約に署名、現在批准に向けた検討を進めている状況であるとともに、平成23年の改正障害者基本法第16条を受けての教育における方向性を示したものである。この報告の柱は次のようになっている。

１ 共生社会の形成に向けて

２ 就学相談・就学先決定の在り方について

３ 障害のある子どもが十分に教育を受けられるための合理的配慮及びその基礎となる

環境整備

４ 多様な学びの場の整備と学校間連携等の推進（以下略）

本支部でも、乳幼児期からの支援について研修を重ねているが、就学相談の在り方等を含む本報告の目指す具体的な姿やそれらをどのように具現化していこうとしているのか、そのビジョンについて、文部科学省から丹羽登特別支援教育調査官を招聘し、具体的なお話を伺う機会を持ち、今後の臨床発達心理士の活動の重要性を考えたい。

また、今年度、千葉県教育委員会の研究指定を受け、早期からの相談・支援について取り組んできた南房総市教育委員会の実践を発表いただき、そのシステムの在り方や相談・支援に関わる臨床発達心理士の今後の活動について研修を深めたい。

○参考

「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」（2012 文部科学省）

○ポイント；1ポイント（会員はIDカード、参加記録ノートを必ずご持参ください。）

○参加費：1000円当日会場でいただきます。

○参加申し込み：申し込みの必要はありません。